

2021年9月17日

Press Release
報道関係各位

一般財団法人日本民間公益活動連携機構

休眠預金等活用法に基づく資金分配団体の決定について ～2021年度通常枠〈第1回〉の助成対象事業を選定～

一般財団法人日本民間公益活動連携機構（所在地：東京都千代田区、理事長：二宮 雅也、
英文名：Japan Network for Public Interest Activities、略称：JANPIA）は、2021年
度通常枠〈第1回〉の休眠預金等活用法に基づく資金分配団体を決定しました。

今回、33事業（31団体）の申請があり、審査の結果、11事業（11団体）、最長3か年
の助成総額約18.3億円を選定しました。

※事業区分別の資金分配団体名とその事業名は別表の通りです。

資金分配団体は、休眠預金等の活用対象となる事業領域において、社会の諸課題の効果
的・効率的な解決に向けた事業を企画・設計し、民間公益活動を行う団体（実行団体）
を公募により選定、助成等の資金的支援及び経営・人材支援等の非資金的支援を伴走型
で提供します。

今後、各資金分配団体は、実行団体の公募、審査、選定を行い、実行団体が今年度中に
活動を開始する見込みです。なお、各資金分配団体の事業の詳細や実行団体の公募など
の情報は、順次 JANPIA のウェブサイトにて公表予定です。

今後のスケジュール（予定）

資金分配団体による実行団体の公募・選定	11月以降
資金分配団体から実行団体への助成金交付 ～実行団体における事業開始	2022年3月末までに準備が整い次第 順次

なお2021年度通常枠については、複数回実施します。第2回公募については、準備が整
い次第、JANPIA のウェブサイトにてスケジュールを公表し、公募を開始する予定です。

＜本件に関する報道関係からのお問い合わせ先＞

一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）

企画広報部 TEL：03-5511-2026 Mail：info@janpia.or.jp

（別表）選定された資金分配団体とその申請事業名一覧

団体名	申請事業名	助成予定額
草の根活動支援事業(全国) 5 事業		
認定特定非営利活動法人 カタリバ *★	地域の社会教育コーディネーター育成事業	1.37 億円
特定非営利活動法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ	こども食堂をハブとした地域資源の循環促進事業	2.06 億円
社会福祉法人 全国盲ろう者協会★	盲ろう者の地域団体の創業支援事業	0.77 億円
公益財団法人 南砺幸せ未来基金 *	社会的困難者を支えるローカルアクション	2.15 億円
公益財団法人 パブリックリソース財団 *	子どもシェルター新設事業	1.35 億円
草の根活動支援事業 (地域) 2 事業		
一般財団法人 中部圏地域創造ファンド *	チームによる支援活動の広域展開	1.56 億円
特定非営利活動法人 ひろしま NPO センター *	中国 5 県休眠預金等活用事業 2021	1.82 億円
イノベーション企画支援事業 1 事業		
公益財団法人 長野県みらい基金*	誰もが活躍できる信州「働き」「学び」「暮らし」づくり事業	2.33 億円
ソーシャルビジネス形成支援事業 2 事業		
一般財団法人 社会変革推進財団	地域インパクトファンド設立・運営支援事業	2.46 億円
一般社団法人 全国古民家再生協会 *★	空き家・古民家を活用した母子家庭向けハウス設立事業	1.34 億円
災害支援事業 1 事業		
一般社団法人 RCF	新たな災害における復興の担い手育成事業	1.04 億円

※ 団体名に「*」があるものは、コンソーシアムにて選定された団体です。

※ 団体名に「★」があるものは、初選定の団体です。

※ 助成予定額は億円単位で表示し、百万円未満を切り捨てしています。

その他の申請団体の情報は、JANPIA のウェブサイトに掲載しています。